

2021年度 公益社団法人乙訓青年会議所 委員長方針

未来をつくる委員会 委員長 下戸 一晃

本年度、乙訓青年会議所は、過去に例のない期首会員数でのスタートとなり、会員数の減少は事業規模の縮小による乙訓（まち）への影響力の低下や学びの機会の減少につながり、ひいては組織消滅の危機となります。今こそ、会員減少を組織団結のチャンスと捉え、一人ひとりが当事者意識をもってメンバー全員で会員拡大活動に向き合い、組織存続の危機を乗り越え、乙訓（まち）により良い変化を与える人材を育み続ける必要があります。

まずは、2月例会では、メンバー全員が主体的に会員拡大活動を行える存在となるために、青年会議所活動と自己や社業との関連性を学ぶことで、我々自身が活動の魅力と組織の価値を理解します。そして、年間を通して行う乙訓JC入会説明会では、拡大目標30人を達成するために、説明会の開催場所や設えに工夫を凝らし、入会候補者にメンバーと触れ合って頂くとともに、組織の価値や楽しさを感じて頂くことで、一人でも多くの入会につなげます。さらに、候補者の入会率を向上させるとともに、入会後の活動を支援するために、メンバー全員で情報共有を行う仕組みを構築し、候補者の情報だけでなく入会後の活動を共有することで、会員拡大活動を活性化します。また、6月例会では、候補者に青年会議所がより身近で楽しく魅力的であることを知って頂くために、参加イベント型の説明会を開催することで、今までの常識にとらわれない自由な発想を活かした会員拡大活動につなげます。そして、11月例会では、FTメンバーに主体性をもって活動するメンバーへと成長して頂くために、一致団結しながら学ぶ機会を提供することで、新しい仲間が組織の理念と本質を理解し、一体感が生まれる環境を構築します。

本年度、未来をつくる委員会では、スローガンを「^{むげん}∞」とし、会員拡大を圧倒的な主体者意識のもと、追い続け、会員拡大事業に講師として招かれる程の成果を上げます。そして委員会メンバー一人ひとりが成長を実感し、記憶に残る一年間とします。